

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		コンポスト容器及び家庭用生ごみ処理機購入費補助			整理番号	704	枝番号			
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230214	連絡先電話番号	3733	昨年度整理番号	690	
係名				リサイクル推進係		上位施策名		No		
予算事業名				リサイクルの推進		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17		
事業開始年度				○昭和 ●平成 4年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事務事業の概要	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 杉並区コンポスト容器購入費補助要綱 (3) 杉並区生ごみ処理機購入費補助要綱			
	区があっせんするコンポスト容器購入者及び家庭用生ごみ処理機購入者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				コンポスト容器購入者に対し、購入価格の半額を補助金として交付。また家庭用生ごみ処理機購入者に対し、購入価格の半額(上限2万円)を補助金として交付する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ごみの発生を抑制しリサイクルの意識を高める。			
	活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(1) コンポスト容器購入費補助件数						(1) 0.7kg × 365日 × コンポスト容器補助累積台数(年間の生ごみ減量)				
(2) 家庭用生ごみ処理機購入費補助件数						(2) 0.7kg × 365日 × 生ごみ処理機補助累積台数(年間の生ごみ減量)				
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	件	63	89	200	62	185	185	33.5	
	活動指標(2)	件	79	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(1)	kg	555,713	578,452	629,552	594,293	641,561	830,631	71.5	
	成果指標(2)	kg	130,816	156,366	181,916	181,916	207,466	309,666	58.7	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,815	2,303	3,568	2,529	3,430	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円				252				
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.22	0.32	0.30	0.53	0.26			
	人件費	千円	1,979	2,912	2,718	4,802	2,356			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	3,794	5,215	6,286	7,331	5,786			
	単位あたりコスト( - )÷	円	60,222	58,596	31,430	118,242	31,276			
	財源	千円								
受益者負担分	千円									
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	3,794	5,215	6,286	7,331	5,786				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)			
	家庭用生ごみ処理機購入費助成				100	件	1,997			
	コンポスト容器購入費助成				62	件	190			
	郵送料						90			
	生ごみ処理機撤去				2	台	252			
その他 ( )						0				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	31.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	70.9
		コンポスト容器の助成件数は昨年を下回ってしまった。家庭用生ごみ処理機については、春秋2回の募集で目標値を達成した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		コンポスト容器は随時受付を行い、生ごみ処理機助成は年に2回募集していることを、広報や区ホームページに定期的に掲載し、また、ごみパックン(清掃管理課広報)には募集と使用状況調査結果を掲載し、助成事業の浸透とごみ減量、及びリサイクルについてPRしたが、コンポスト容器助成については目標値に達しなかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成4年度に事業を開始したコンポスト容器助成は、当初は助成の希望者も多かったが、平成15年度以降は助成希望者の減少が見られる。平成9年度に事業を開始した家庭用生ごみ処理機については応募者の上昇が見られ、ごみ減量とリサイクルに対する意識改革が進んでいることがうかがえる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	コンポスト容器についてはたい肥化されたものを再利用できるため、ごみ減量と環境に貢献している充実感が得られるとの意見があった。また、家庭用生ごみ処理機については、区内の店舗で購入することを条件にしているため、区外であっても助成の対象にできないかとの要望がある。					
	今後の予測	家庭用生ごみ処理機については各メーカーともいろいろな機種を販売しており、各家庭においても環境に対する配慮と手軽さから、購入を検討していると思われる。助成についての問合せも増えており、今後希望者の増加が考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 可燃ごみのなかで、生ごみの占める割合は多いため、ごみ減量及びリサイクルに対する意識の向上により、ごみ減量化に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 生ごみ処理機については各メーカーのPRもあることから希望者は増えると思われる。この機種が普及することにより確実にごみは減量されるので、事業の充実を図りたい。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 本人が購入費を支払い半額を補助している。ごみ減量やリサイクルへの意識を高めるためには、現行の補助は必要と考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 生ごみ減量の相談・受付業務については、検討の余地がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 現在すぎなみ環境ネットワークに、ごみの減量や生ごみのたい肥化についての講座や相談業務を委託しているが、今後さらに受付業務についても検討をする。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 家庭用生ごみ処理機の購入希望者が多く、ごみ減量に対する意識の高まりが感じられる。今後は募集の方法を検討し、区民が申し込みやすい方法を構築するほか、さらに、ごみ減量及びリサイクルについての啓発活動に努める。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 コンポスト容器や家庭用生ごみ処理機の購入費補助を行うことにより、生ごみの減量を図るとともに、リサイクルに対する意識の向上を目指す。また、家庭用生ごみ処理機補助については区民からの申し込みも多いことから、申し込みが少ないコンポスト容器購入補助との調整を検討する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクルに向けた協働推進				整理番号	705		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	23014	連絡先電話番号	3733		昨年度整理番号	691	
係名					リサイクル推進係			上位施策名		No	
予算事業名					リサイクルの推進			ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		6 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) (特非) すぎなみ環境ネットワーク補助金交付要綱				
	特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク 集団回収登録団体						(2) 杉並区集団回収要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				NPOには、リサイクルひろば高井戸での家具販売、不用品情報コーナーの運営等に対し補助金を支給。普及・啓発事業と集団回収事務、環境情報館受付・相談業務を委託。集団回収登録団体は回収量に応じた報奨金を支給。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民、事業者、行政の協働により、普及・啓発や家具のリサイクル、集団回収への取り組みを進め、ごみ減量を図る。				
活動指標名(式)				(1) 家具販売件数 + 不用品情報コーナー成立件数 (2) 講座・講習会等の延べ参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 集団回収への参加 = 集団回収量 (2) (代) 粗大ごみ収集実績					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	3,051	3,358	3,529	3,216	3,880	4,508	71.3	
	活動指標(2)		人	4,054	6,541		2,343				
	成果指標(1)		kg	4,534,337	4,660,757	5,000,000	5,281,662	5,500,000	7,500,000	70.4	
	成果指標(2)		kg	3,581,000	3,482,000		3,897,000	3,465,000	3,479,000	112.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	89,572	84,065	88,053	87,447	89,544	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	1,342	15,406	15,953	15,776	15,877			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.64	0.32	0.30	0.74	0.70			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,756	2,912	2,718	6,704			6,342
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	95,328	86,977	90,771	94,151	95,886			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	31,245	25,901	25,721	29,276	24,713			
	財源	受益者負担分		千円	2,786	3,000	2,996	2,773			2,937
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	2,786	3,000	2,996	2,773	2,937				
差引: 一般財源 -		千円	92,542	83,977	87,775	91,378	92,949				
受益者負担比率 ÷		%	2.9	3.4	3.3	2.9	3.1				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		集団回収の支援(報奨金、委託料等)					5,281,662	kg	39,856		
		リサイクルひろば高井戸賃借料					1	棟	34,323		
		普及啓発講座(委託)					138	回	7,989		
		すぎなみ環境ネットワーク補助金					1	団体	5,279		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	91.1	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	99.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		家具の引き取り・修理・販売では、多数取り扱えるように清掃事務所高井戸車庫事務所棟の一部を貸し出し、保管できるようにした。 集団回収報奨金は、回収量が増え不足したため流用を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	すぎなみ環境ネットワークへの補助金事業、委託事業について、16年度に見直しを行った。集団回収報奨金をネットワークへの補助金に含めてが、区から直接支給することとした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	外部監査で、団体に建物を無償貸与することをやめ、自主事業で使用する部分の賃借料をもらい、必要分の補助金を支給したらどうかとの意見があった。 家具販売では、配送した家具を家の中に運び込んで欲しい旨の要望がある。					
	今後の予測	清掃事業では、「一般廃棄物処理基本計画」「ごみ半減プラン」でごみ的大幅削減を目指しているため、区民への普及啓発及び家具のリユース事業は推進する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 普及啓発はわかりやすい内容で継続的に行うことなどが、アウトカムにつながる。また、集団回収の相談も経験者が受けることが望ましい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 家具のリユース事業は自主事業であるため、NPOの収益となる。事業拡大を働きかけても、事業費の増はない。 理由または具体的内容: 家具のリユース事業の周知、保管スペースを確保したことなどで取り扱い件数を増やすことができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 講座・講習会、家具販売では、必要な経費を徴収している。 集団回収でも団体が回収業者に逆有償で経費を支払っている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: NPOに委託することですでに経費削減には努めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 普及啓発事業、集団回収事務などを委託し、経験を生かしてもらっている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPOの特性が充分生かせるように、かつ、自立した運営に近づくような運営をすることが課題であるが、時期については未定。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	すぎなみ環境ネットワークへの事業委託及び補助金については増減なし。 集団回収報奨金は、回収量増加の計画であるため増加。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ減量運動の普及・広報				整理番号	707		枝番号			
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3734		昨年度整理番号	694	
係名		ごみ減量担当				上位施策名			No			
予算事業名		環境配慮行動の拡充・普及啓発		コード	65760・69700		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 循環型社会形成推進基本法 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	区民、事業者、産業団体等											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		ごみ減量を推進するため、「マイバッグ持参運動」や「ごみ会議」の開催等による啓発活動を行う。また、各種啓発紙を発行・配布する。なお、過剰包装の抑制や環境への配慮をテーマに「すぎなみ環境賞」を創設し、区民、事業者を表彰するとともに、アイデアや活動を広く区民にPRする。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 清掃事業をより深く理解してもらい、ごみの発生抑制や減量、リサイクルの普及啓発及び促進を図る。							
活動指標名(式)		(1) パンフレット、チラシ及びポスター延べ作成件数 (2) ごみパッケン印刷枚数×発行回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不燃ごみとして排出された中の可燃ごみの混入率 (2) リサイクル率								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		枚	163,000	780,190	409,200	337,000	454,200				
	活動指標(2)		枚	132,000	126,000	126,000	126,000	126,000				
	成果指標(1)			9	13	9	11	9				
	成果指標(2)			19.4	19.7	20.5	20.5	21.4				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,961	18,122	19,639	11,644	18,409	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	2,956	8,632	5,670	5,130	6,238				
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.25	2.65	2.60	2.21	2.21				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	20,237	24,115	23,556	20,023			20,023	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	28,198	42,237	43,195	31,667	38,432				
	単位あたりコスト( - )÷		円	173	54	106	94	85				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	28,198	42,237	43,195	31,667	38,432					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		「ごみパッケン」発行					126,000	部	1,402			
		マイバッグ推進ポスター					6,000	枚	378			
		ごみ会議PRチラシ					16,000	枚	99			
		すぎなみ環境賞パンフレット					9,000	部	416			
		その他 ごみ出し広報チラシ等							9,349			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	82.4	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	59.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度は「一般廃棄物処理基本計画、ごみ半減プラン普及啓発用」広報特集号などを発行し、広く区民や事業者に啓発した。また、外国語版「ごみの正しい分け方・出し方」のパンフレットを作成し、外国人への周知徹底を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	清掃事業への理解やごみの発生抑制と減量化について理解が深まりつつある。しかし、熱心な区民と無関心な区民とに開きがあり、区民全般に十分な理解が得られていない。そのため、午前中収集強化や品目別の分別方法等をHPに掲載し、より多くの区民に周知徹底できるようにした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	転入者や排出マナーの悪い区民に対し、ごみの分別や排出方法を周知徹底するよう要望がある。また、マイバッグ制作教室・コンテストや中学生ごみ会議などでは、多くの区民がごみの発生抑制や減量について再認識し、今日から実践しますという人が多かった。					
	今後の予測	ごみ半減プランにより、ごみの発生抑制や減量、資源物の分別徹底、ペットボトルの効率的な回収、廃プラスチックのリサイクルなど新たな取組みをより一層進めるため、今後もいろいろな手法で普及啓発をするとともに、機会や場所に応じた広報活動が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:ごみ減量活動を推進するためには、情報提供と広報活動などにより、区民・事業者に対する意識啓発の効果がある。さらに、ごみの分別を徹底し適正な排出処理をすることにより、ごみの発生を抑制するとともにリサイクルを推進する					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民、事業者に対して、意識向上を継続して行うことにより、最小限の経費で効果を上げることが可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:広報活動であるため、受益者負担の余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:ページ数が少なく記載内容が多いため、コストを下げるのは困難である。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題:マイバッグ製作教室をNPO法人すぎなみ環境ネットワークに事業委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ごみの発生抑制や減量化、リサイクルの推進及び分別の徹底を普及啓発するため、関係課と連携してごみの出し方ルールなどの周知徹底を図る。また、新聞購読が減っているため、広報すぎなみだけに頼る周知方法には限界があるので、HPの活用や新たな区民への周知方法を検討する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広報すぎなみ・HPは、広報の専用紙面や広報特集号等独自の取組みが必要である。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	ごみの発生抑制や減量化、リサイクルの推進及び分別の徹底を普及啓発するため、関係課と連携してごみの出し方ルールなどの周知徹底を図るとともに、廃プラスチック分別収集の拡大及び廃プラスチックサーマルリサイクルの収集実施の普及啓発に努める。また、過剰包装の抑制をテーマとした、「すぎなみ環境賞」を杉並区独自の制度として、全国に発信する。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ペットボトル回収				整理番号	709		枝番号			
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3733		昨年度整理番号	696	
係名		リサイクル推進係				上位施策名				No		
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 容器包装リサイクル法							
	ペットボトル排出者											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		回収協力店、販売事業者、区施設においた回収ボックスからペットボトルを回収し、中間処理施設に搬入する。搬入後、容器包装リサイクル法に基づく選別・圧縮・梱包を行う。梱包したペットボトルは容器包装リサイクル協会の指定する再資源化処理業者へ引き渡し、再商品化する。									
活動目標名(式)		(1) ペットボトル拠点回収量 (2) ペットボトル回収拠点数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ペットボトルの発生抑制を関係機関に働きかけるとともに、区民への普及啓発に努める。 消費されたペットボトルについては、すべて資源として回収し、再資源化する。								
成果指標名(式)		(1) ペットボトル回収率 = 回収量 ÷ (回収量 + ごみへの混入量 + 集積所モデル事業回収量) (2) ごみへの混入量 = (不燃ごみ × 不燃組成率過去3年平均) + (可燃ごみ × 可燃組成率過去3年平均)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ペットボトル回収率 = 回収量 ÷ (回収量 + ごみへの混入量 + 集積所モデル事業回収量) (2) ごみへの混入量 = (不燃ごみ × 不燃組成率過去3年平均) + (可燃ごみ × 可燃組成率過去3年平均)								
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度	目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績	計画	22年度				
	活動指標(1)	t	607	679	700	750	750	750	100.0			
	活動指標(2)	箇所	369	396	396	424	424	424	100.0			
	成果指標(1)	%	19.6	20.9	28.5	27.8	24.5	24.5	113.5			
成果指標(2)	t	1,889	1,882	1,831	1,922	2,211	443	433.9				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	84,182	88,531	105,020	91,344	103,987	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	29,699	34,368	37,191	36,242	36,225				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40   0.00	0.32   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,598	2,912	906	906	906			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	87,780	91,443	105,926	92,250	104,893				
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	144,613	134,673	151,323	123,000	139,857				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	87,780	91,443	105,926	92,250	104,893					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		ペットボトル回収拠点数拡大					424	箇所				
		ペットボトル回収量拡大					750,360	kg	91,344			
		その他 ( )							0			





# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ペットボトル集積所回収モデル事業				整理番号	710		枝番号				
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	23014		連絡先電話番号	3733		昨年度整理番号	697		
係名				リサイクル推進係				上位施策名		No			
予算事業名				ごみ収集管理		コード	68100		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 容器包装リサイクル法						
	モデル事業対象地区				ペットボトル排出者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内全域に拡大し、ペットボトル回収事業と合わせ、発生抑制のための関係団体への働きかけ及び区民への普及啓発、消費ペットボトルの全量回収・再資源化を目指す。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				ペットボトルをごみ・資源と同じ集積所を利用して回収する。回収方法は、回収容器の設置及び回収・運搬を新たに民間業者へ委託して実施している。回収したペットボトルは、容器包装リサイクル法に基づき、選別・圧縮・梱包し、容器リサイクル協会の入札により再資源化処理業者へ引き渡し、再商品化する。		活動指標名(式) (1) ペットボトル回収量 (2) 対象世帯数						
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\text{回収率} = \frac{\text{モデル事業回収量}}{((\text{ごみへの混入量} + \text{拠点回収量} + \text{モデル回収量}) \div \text{総世帯数} \times \text{モデル地区世帯数})}$ (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		t	6	50	26	100	1,795	1.4				
	活動指標(2)		世帯	4,100	8,000	7,700	16,000	291,000	2.6				
	成果指標(1)		%	17.2	80.0	32.3	58.8	80.0	40.4				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,747	8,895	8,058	17,789	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)投資的経費等		千円										
	(内)委託費		千円	3,579	8,415	7,587	16,830						
	職員数(常勤   非常勤)		人		0.54	0.30	0.42	0.50					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	4,914	2,718	3,805	4,530				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	9,661	11,613	11,863	22,319					
	単位あたりコスト( - )÷		円		1,610,167	232,260	456,269	223,190					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	0	9,661	11,613	11,863	22,319						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			収集・運搬委託						6,319				
			選別・梱包委託						1,268				
			ペットボトル回収容器の購入						379				
			周知用ちらしの印刷請負						87				
その他 (消耗品)						5							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	52.0	活動指標(2)の17年度達成率%	96.3	17年度予算執行率%	90.6
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		実施計画等に基づき、回収エリアを10月より新たに7700に世帯拡大した。回収コストについては、ペットボトルは重量に比してかさ張るため、回収方法については引き続き検討していかなければならない。また、スケールメリットが反映される委託契約ができるよう今後も回収エリアを拡大していく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当該事業は16年11月より開始したが、16年度と17年度の同時期を比較すると回収量は増加しているため、区民へ浸透してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	当該事業対象地区のみならず、区民からの集積所回収に対するニーズは高い。					
	今後の予測	ペットボトルは飲食料用容器として利便性が高いことから、日常生活に定着し、今後もさらに生産量と消費量は伸びる傾向にある。したがって、現在コスト的には高いペットボトルの回収及び再資源化も比例して伸びるものと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: ペットボトルの回収は店頭回収が主であるため、近隣に商店等回収拠点がない地域の区民には不便であった。集積所回収は、区民ニーズに沿った利便性の高い事業であるとともに、ペットボトルの回収量の増につながる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在民間委託で事業を実施しており、対象地区を拡大するためには、現在以上の経費は必要となる。 理由または具体的内容: 今後事業費は増加するが、収集・運搬コストは対象を拡大することにより、単位コストは抑制できる。また、対象が拡大されれば、ペットボトルの回収量増につながる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区独自では困難であるが、デポジット制の導入や拡大生産者責任により受益者(消費者)に回収経費の一部を負担するシステムを確立するなど、国等関係機関へ働きかけていく。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 普及啓発を強化し、排出量の抑制及び回収率の向上に努める。一方で、回収業務委託もエリア拡大によるスケールメリットを盛り込む。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 当該事業はすべて民間委託により実施している。現行の体制を維持するとともに効率を向上させ、今後はコストの抑制を図っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ペットボトルの回収量増を図るため、今後も事業の検証をしつつ、実施計画等に基づき事業エリアを区内全域に広げる。ペットボトルは重量に比してかさ張るため、回収効率の良い拠点回収でも回収コストは高い。集積所回収は現状では拠点回収以上にコストを要している。しかし、今後はエリア拡大に伴うスケールメリットが反映される委託契約とする。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大量に効率よく回収するためには、選別・圧縮・梱包・保管の施設を区内に確保することが不可欠である。一方、減容のためチップ化したボトルの引き取りを、国や容器包装リサイクル協会等へも働きかける。ペットボトルに混入する異物が無くなるよう分別の周知徹底を図り、コストの抑制に努める。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 (2) 理由 対象エリア拡大のため	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		びん・缶・古紙回収				整理番号	711		枝番号			
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3733		昨年度整理番号	698	
係名					リサイクル推進係			上位施策名		No		
予算事業名					ごみ収集管理			ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	飲食用びん・缶及び古紙の資源を区内のごみ集積所において、週1回回収する。				ごみとして排出されていた資源を分別収集することにより、ごみの減量とリサイクルを進める。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 資源回収量				(1) リサイクル率								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	t	26,682	26,110	27,200	26,318	27,251	26,700	98.6			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	19.4	19.7		20.5						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	713,861	718,196	799,594	726,573	842,711	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	499,668	485,790	550,302	464,618	830,377				
	職員数(常勤   非常勤)		人	24.70   10.00	20.64   14.00	17.60   12.00	17.63   12.00	4.53   3.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	222,152	187,824	159,456	159,728			41,042	
		非常勤職員分		千円	27,590	40,320	34,680	34,680			8,670	
	総事業費 + +		千円	963,603	946,340	993,730	920,981	892,423				
	単位あたりコスト( - )÷		円	36,114	36,244	36,534	34,994	32,748				
	財源	受益者負担分		千円	110,995	121,652	94,505	119,090			98,694	
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	110,995	121,652	94,505	119,090	98,694					
差引:一般財源 -		千円	852,608	824,688	899,225	801,891	793,729					
受益者負担比率 ÷		%	11.5	12.9	9.5	12.9	11.1					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		車両雇上費							211,353			
		びん・缶回収委託							191,582			
		びん資源化委託							117,367			
		古紙資源化委託							57,492			
		その他 (古紙回収委託、缶資源化委託等)							148,779			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	96.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	90.9
		資源回収量は、天候や景気及び集団回収や民間事業者の回収に影響を受ける。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		回収業務委託の拡大を行い、18年度より古紙・びん・缶の回収はほぼ全面的に民間事業者に委託されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	びん、缶のみの回収から古紙も含めた旧東京ルール になったのが、平成11年6月。市況によっては、回収品が高額で売却できるため、資源の持ち去り行為などが起こっている。旧東京ルール 実施に伴い、集団回収から行政回収に移行する区民が多く集団回収量が激減したが、最近では微増傾向で推移している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	資源持ち去り行為について、抜き取り業者に対する取締りの強化を望む声がある。					
	今後の予測	集団回収や民間事業者による回収と共存していく。契約方法の見直しや集団回収等、民間事業者による回収等の増加により、資源回収に関する経費削減の可能性もある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 資源回収によりごみ減量に大きく寄与している。これは、この事業開始前と開始後のごみ量の比較からも分かる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 理由または具体的内容： 資源回収は、行政のみで行っているものではないため、民間事業者の回収へのシフトを進める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： ごみが有料でない現状では、見直しの余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容： 回収業務、資源化を委託しているが、契約方法の見直しなどを通じてコスト削減につなげていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 18年度より回収委託の拡大に伴い、民間事業者との協働は十分に実現している。また、区の事業以外に民間事業者が独自に行う回収についても、周知に努める。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間事業者と住民が自主的に行う集団回収や民間事業者による回収を進めることで、行政回収の経費削減につながる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 市況変動や天候による資源回収量の増にも対応する。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般廃棄物処理計画改定・各種調査				整理番号	714	枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	701	
係名		清掃計画係			上位施策名			No		
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	今後の清掃・リサイクル事業のあり方		今後の清掃・リサイクル事業のあり方		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区の清掃事業の根幹となる一般廃棄物処理基本計画を策定し、区民への普及を図る。 また、計画策定のために必要な基礎データを収集するため、各種調査を実施する。		一般廃棄物処理基本計画に定めた目標を達成することにより、環境負荷の少ない資源循環型の地域社会を目指す。					
活動指標名(式)		(1) 清掃事業費		(2) 収集車両搬入台数(可燃ごみ、不燃ごみ)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一人あたりの清掃事業費 (2)				
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
	活動指標(1)	百万円	8,441	8,195	計画	実績	8,434			
	活動指標(2)	台	119,760	118,584	107,730	120,220	107,260			
	成果指標(1)	円/人	16,101	15,613	16,483		15,962			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,516	3,822	3,700	2,380	9,535	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)は、資源回収、普及啓発等も含む清掃事業費全体の金額。今回、15年度実績及び17年度計画を修正した。 活動指標(2)は、可燃・不燃ごみ収集車両の延搬入台数(回数)。ただし、計画台数は作業計画上の台数に作業日数を乗じて算出したため、軽小型車両や臨時車両等による搬入の回数は含まれない。なお、今回、15・16年度実績を訂正した。 成果指標(1)は、区民一人あたりの清掃事業費を設定した(人口は10月1日現在、18年度は4月1日現在)。 また、17年度実績値は、決算数値が未定のため掲載せず、18年度計画は予算額を計上した。 なお、18年度は杉並中継所組成調査のほか、一般廃棄物処理基本計画改定に向けた基礎調査を実施する。	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円	2,516	3,822	3,700	2,380	9,535		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.37	0.55	0.54	0.52	0.53		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,328	5,005	4,892	4,711	4,802		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	5,844	8,827	8,592	7,091	14,337		
	単位あたりコスト( - )÷		円	692	1,077	989		1,700		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	5,844	8,827	8,592	7,091	14,337			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		杉並中継所搬入ごみ組成調査(委託等)				1	回	2,380		
		その他 ( )						0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	0.0	活動指標(2)の17年度達成率%	111.6	17年度予算執行率%	64.3
		杉並中継所搬入ごみ組成調査の調査委託落札差金による残。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		杉並中継所の搬入ごみ組成調査を実施するほか、一般廃棄物処理基本計画の19年度の改定に向け、18年度は基礎調査を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	清掃事業を取り巻く環境の変化や制度の改正に対応した施策を展開するため、区では14年度に逸早く一般廃棄物処理基本計画を改定した。また、16年度にはその具体化プログラムである「ごみ半減プラン」を策定し、目標達成に向けた事業を実施している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	環境やリサイクルに対する関心の高さから、区の清掃事業に寄せる区民の期待は大きい。リサイクルのあり方に対する意見、収集サービス向上の要望等、清掃事業を展開する上で参考となる意見が多い。					
	今後の予測	清掃事業の今後の展開としては、20年度以降廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施が予定されている。また、ペットボトルやプラスチック製容器包装分別収集の全区実施も予定している。そのため、ごみ量、収集作業形態が大きく変化していくことが予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 一般廃棄物処理基本計画は清掃・リサイクル事業の根幹であり、この計画をもとに毎年の実施計画や作業計画を策定し清掃事業を行っているため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 調査事業については、調査内容や方法を精査することにより、より質の高い調査を実施することができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 調査事業については、調査内容や方法を精査することにより、より質の高い調査を低コストで実施することは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 調査事業は民間業者に委託し実施している。 なお、区は調査結果を精査し、施策に活用していくことが重要である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 一般廃棄物処理基本計画は概ね5年ごとに改定を行うが、清掃事業を取り巻く環境は刻々と変化しているため、これらの状況に対応した計画を策定する。また、計画策定後は、目標を達成するため具体化プログラムに従い、着実に事業を展開する。そのため、日頃から清掃・リサイクル関係の情報を収集し課題を整理しておくとともに、目標管理・スケジュール管理をしていく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 19年度の一般廃棄物処理基本計画の改定にあたり、18年度は基礎調査を実施するための経費を予算計上している。なお、19年度は改定のための支援事業費を計上する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		プラスチック分別回収				整理番号	715		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	702	
係名					清掃計画係			上位施策名		No	
予算事業名					ごみ収集管理		コード	68100		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進	17
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	プラスチック製容器包装分別収集対象地区内の一般家庭						(2) 容器包装リサイクル法				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				容器包装リサイクル法対象の「その他プラスチック製容器包装(ペットボトルを除く)」を資源として回収し、指定法人ルートによる再商品化を行う。		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例・規則				
活動指標名(式)				(1) プラスチック製容器包装収集量 (2) 不燃ごみ収集量		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 不燃ごみの約半分の重量を占めるプラスチック製容器包装を分別回収し、リサイクルすることにより、資源の有効活用、最終処分場の延命及び杉並中継所の不要化を図る。					
成果指標名(式)				(1) 回収率(協力率) (=回収量/中継所容リプラ(PET除く)) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 回収率(協力率) (=回収量/中継所容リプラ(PET除く)) (2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		t	3.59	85	657	634	1,313	4,226	15.0	
	活動指標(2)		t	26,312	26,320	26,261	26,516	26,736			
	成果指標(1)		%	28.9	38.4	37.6	40.5	42.6			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,386	23,417	136,189	137,009	275,215	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の計画量は、実施計画の数値を使用した。 活動指標(2)の18年度計画量は、1人1日あたりのごみ量の過去5年間の推移を平均化し、人口推移を加味して算出した。ただし、サーマルリサイクルの実施等による新たなごみ量の推移が不明なため、22年度の指標は算定できない。 同様に成果指標(1)の目標値も設定できない。 今後の動向によっては、指標の変更も検討する必要がある。 なお、18年度の事業費の増加は、事業規模の拡大による。また、財源の国・都からの支出金は、あくじ助成金。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	927	13,841	63,545	65,609	154,030			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.45	2.75	2.42	5.93			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799	4,095	24,915	21,925			53,726
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	4,185	27,512	161,104	158,934	328,941			
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,165,738	323,671	245,212	250,685	250,526			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円				48,585			
特定財源計 +		千円	0	0	0	48,585	0				
差引: 一般財源 -		千円	4,185	27,512	161,104	110,349	328,941				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		収集車両雇上費(委託等)					4	台/日	70,380		
		選別・圧縮・梱包・保管委託(委託等)					634	t	47,061		
		収集作業人件費(人材派遣委託)(委託等)					4	人	14,834		
		再商品化委託(委託等)					42,458	kg	3,397		
		その他 (周知用チラシ作成、配布等 (委託等))							1,337		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	96.5	活動指標(2)の17年度達成率%	101.0	17年度予算執行率%	100.6
		資源化委託量が当初の予定を上回ったため、選別・圧縮・梱包・保管委託料が予算をオーバーした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度は分別収集対象地区を区内1/6で行ったが、18年度は1/3地区に拡大したため、収集運搬経費、資源化及び再商品化委託経費が増加した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	13～15年度に廃プラスチック分別収集モデル事業を実施し、排出方法、資源化の方法などを調査した。16年度は通年で実施し、容器包装リサイクル法の指定法人ルートによる再商品化を行っている。17年度は、実施対象地区を区内1/6地区に拡大し、本格的な実施を開始した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	廃プラスチックのリサイクルについては、環境への負荷の軽減という観点から肯定的な意見が多い。しかし、容器包装リサイクル法の対象となる「その他プラスチック製容器包装」の対象がわかりづらいとの意見もある。					
	今後の予測	プラスチック製容器包装の分別収集を区内全域に拡大し、資源化を推進する。また、容器包装リサイクル法の対象とならない廃プラスチックは、サーマルリサイクルにより熱回収する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：一般廃棄物処理基本計画の重点目標である杉並中継所不要化、最終処分場の延命のためにも、不燃ごみの5割以上を占めるプラスチックのリサイクルは不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：収集対象地区の拡大に伴い、作業形態のより一層の効率化を図ることにより、収集コストの単価を下げることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：ごみ減量と負担の公平性の観点から家庭ごみ有料化の検討が課題となっているが、区民のモチベーションを高めるため、資源回収は有料化しないことが望ましい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：収集量の増加に伴う作業の効率化により、単位あたりの収集運搬コストは下げることができる。しかし、当面は、事業規模の拡大に伴い事業費全体の増加が見込まれる。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 現在、本業務に関しては委託の割合が大きい。今後、事業の拡大に伴い、さらに委託化が推進するものと思われる。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 不燃ごみの約5割を占めるプラスチックの減量は、全国的にも課題となっている。本区でも、杉並中継所不要化や最終処分場の延命等のため、プラスチックの減量に特に重点を置いており、23区の中でもいち早くプラスチック製容器包装の分別収集に取り組んでいる。なお、23区統一の取組みとして、20年度から廃プラスチックのサーマルリサイクルが実施される予定である。これにより、最終処分場の延命が図られることとなるが、本区としては、環境に負荷の少ないリサイクル方法を優先させる方針であり、サーマルリサイクルの実施に合わせ、プラスチック製容器包装分別収集を区内全域で実施する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 プラスチック製容器包装を容器包装リサイクル法のシステムにより資源化する場合、指定保管施設の確保が不可欠となる。収集地区の拡大に伴い、効率的な収集作業を行うためにも、保管施設は区内又は近隣に確保することが望ましい。区による新たな施設の建設が困難な現状では、民間施設や区外施設等の確保を検討していくことが重要である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	プラスチック製容器包装の分別収集を拡大するためには、収集規模に見合う資源化施設を確保することが必須条件であり、19年度の拡大は事実上困難な状況である。なお、事業費としては、既実施地区における排出量の増加に伴う収集経費の増、20年度収集対象地区の拡大に伴う周知の経費が必要となる。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指導管理(事業用大規模建築物への立入指導)				整理番号	719	枝番号					
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230504	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	707				
係名		作業係		上位施策名				No					
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		事業用延床面積1,000㎡以上の大規模建築物の所有者、占有者、管理者		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 事業者に対し、廃棄物の発生抑制、再生利用、資源化による減量及び再生処理の確保。								
	活動指標名(式)		(1) 立入指導件数 (2)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 事業系ごみの再利用率 (2) 事業系ごみの再利用率								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		件	127	65	100	66	80	120	55.0			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		t	7,535	6,207	7,016	7,280	7,426	9,375	77.7			
	成果指標(2)		%	45	45	61	51	54	68	75.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10	234	74	48	238	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年4月より、2清掃事務所でおこなっていた事業を本所に統合し効率化を図った。 2年に一度程、廃棄物管理責任者講習会テキストを作成し、事業費に計上している。				
	(内)投資的経費等		千円										
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.14	1.00	1.80	1.00	1.80			1.00	1.80	1.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	28,241	16,380	16,308	16,308			16,308		
		非常勤職員分		千円	2,759	2,880	2,890	2,890			2,890		
	総事業費 ++		千円	31,010	19,494	19,272	19,246	19,436					
	単位あたりコスト( - )÷		円	244,173	299,908	192,720	291,606	242,950					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	31,010	19,494	19,272	19,246	19,436						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		通信運搬費 郵便料					337	通	48				
		その他 ( )							0				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	66.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	64.9
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成17年7月から、指導対象が延べ床面積3,000㎡以上から1,000㎡以上に拡大された。これに伴い、ごみの減量・リサイクルについて、事業者の理解が広まりつつある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	対象施設の拡大すること、また社会認識の変化により、徐々に事業系廃棄物の減量が推進されると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 事業用大規模建築物から大量に排出される廃棄物の再利用、資源化の推進、適正処理の確保は、ごみ処理施設の負担軽減につながる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 平成16年4月より、2清掃事務所で行った事業を本所に統合し効率化を図った。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 平成16年4月より、2清掃事務所で行った事業を本所に統合し効率化を図った。また、対象を拡大することにより、焼却量、埋立量の減が期待される。ただし、指導要員の拡充を要する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 行政指導・勧告のため				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 計画的に立入り調査を行い、資源再利用の促進及びごみ減量化への取り組みなどについて積極的に指導する。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限られた人員の中で、指導が適時・適切にできるように所内での協力体制を確立するとともに、効率的な調査ができるよう事業者への協力を求めることも必要である。		
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ処理手数料徴収				整理番号	724	枝番号		
担当部課名		環境清掃部杉並清掃事務所・方南支所		コード	230501	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	713	
係名				管理係		上位施策名			No	
予算事業名				ごみ収集作業等		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例(44～51条)			
	区民並びに区内事業者及びごみ処理券取扱所						(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する規則(30～45条)			
	区民並びに区内事業者及びごみ処理券取扱所						(3) 廃棄物処理手数料の徴収に関する取扱要綱			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
ごみ処理手数料を徴収する。徴収方法は有料シールによるものと納入通知書によるものがある。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 廃棄物処理手数料の収納済額				(1) 廃棄物処理手数料の徴収率						
(2) ごみ処理券取扱所数				(2) ごみ処理券取扱所の平均距離((杉並区の面積÷店舗数)の平方根)						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)		382,903	363,287	399,962	357,556	380,644			
	活動指標(2)		386	374	400	354	400			
	成果指標(1)		99	100	100	99	100			
	成果指標(2)		297	302	292	310	292			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	27,738	25,867	30,512	25,105	30,041	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	千円	16,753	15,900	17,001	15,561	16,833			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.75	1.79	1.74	1.74	1.74			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,740	16,289	15,764	15,764		15,764	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +	千円	43,478	42,156	46,276	40,869	45,805			
	単位あたりコスト( - )÷	円	114	116	116	114	120			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	43,478	42,156	46,276	40,869	45,805			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)		
	手数料徴収委託					354	店	15,561		
	その他 ( )							9,544		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	89.4	活動指標(2)の17年度達成率%	88.5	17年度予算執行率%	82.3
		未納者に対して督促行為を行い未収金の徴収に努めたが、転居等により連絡がつかず未収となった事案がある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		支払不能の欠損金を最低限に抑えるために、未納者への催促を郵便や電話など可能な限りの方法で実施した。また、ごみ処理券取扱所数については、区内で営業しているコンビニエンスストアのほとんどの参加が得られ、区民の利便性が向上している。このほか、区境の住民の利便性を確保するため、世田谷区や中野区の店舗とも契約を結んだ。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成3年7月から粗大ごみ処理手数料の徴収が開始され、平成8年12月から事業系ごみが有料となった。平成12年4月に清掃事業が区に移管された後、平成14年4月より杉並区独自の粗大ごみ受付センターを開設し手数料の案内事務を依頼している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業系ごみだけでなく、家庭ごみの有料化を望む意見と、ごみ処理券の販売店がわかりにくいという声がある。また、粗大ごみの有料化に伴い、道路や空き地への不法投棄に対する苦情が増加している。					
	今後の予測	従来の家電四品目と家庭用パソコンに加え平成16年度から冷凍庫のリサイクルが開始されたため、ごみ処理手数料の収入が減少した。一方で、粗大ごみの不法投棄の増加が予測される。また、区内のほとんどのコンビニエンスストアが処理券の販売に参加したことにより、一般取扱店からは販売率低下による取扱廃止の希望が増えると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 廃棄物処理手数料の徴収は、清掃事業の運営経費への財源として重要である。また、区民・事業者が容易に処理券購入ができる環境づくりが必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ごみ処理券を委託業者の買取方式にすることで、委託手数料の支払いや内部での振替処理などが省略でき、事務の効率化が図られる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は						
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: ごみ処理券を買取方式に変更することで事務量を減らすことができ、経費節減も図られる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 手数料徴収率の向上について、まじめに支払っている区民等との公平性を保つため、未納者への郵送や電話・家庭訪問による督促を一層強化させる。また、事業系ごみ処理券の未貼付について積極的に指導することにより、負担の適正化が図られるとともに、ごみ減量への取り組みを加速させると考えられる。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「臨時ごみ」の手料金は排出量で決定されるため、即時徴収ができず、後日納付となり未納となるケースが多い。このため、サービス提供後の受益者負担分の徴収方法を担当部署と調整を図り新たな方法を構築する必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 ごみ処理券取扱所数については、区内で営業しているほとんどのコンビニエンスストアの参加が得られ、現状で区民の利便性は十分に確保できている。						